



静止状態になってしまい、飢饉等があると  
そのために減少した人口はなかなか回復し  
ないのです。

では会津藩の状態はどうだったのでしょ  
うか。グラフに見られるとおり初期は新田  
が開発されて人口は増え続けました。藩の  
家老が『慶安元年より元禄元年までの四一  
年間、潮がさすように民勢がさかんになっ  
た』と述べている状態でした。このような  
人口の増加は各藩と同様で、南部藩では  
寛文九年（一六六九年）までの三十四年間  
に、二五%もふえています。

それでは金山谷の状況はどうでしょう  
か。寛永十八年の金山谷の大凶作で人口が  
半減した村の例をみると、慶安年間に回復  
し元禄期には倍増しているのです。しかし、  
それ以後は人口の動きは止まってしまい、  
会津藩の推移と同じ状況を示しています。

史家は人口の増えない理由として年貢の  
増加と凶作を挙げています。